

## 2021年度 第100回全国高等学校サッカー選手権大会十勝地区予選

### 開催要項

1. 主旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
2. 名称 2021年度 第100回全国高等学校サッカー選手権大会十勝地区予選
3. 主催 北海道高等学校体育連盟十勝支部
4. 共催 (一社)十勝地区サッカー協会
5. 主管 北海道高等学校体育連盟十勝支部サッカー専門部  
(一社)十勝地区サッカー協会2種委員会
6. 当番校 帯広北高等学校  
〒080-0833 帯広市稲田町基線 8-2  
TEL 0155-47-0121 FAX 0155-48-0021
7. 期日 令和3年8月28日(土)、9月4日(土)、5日(日)、11日(土)、  
【予備日12日】  
8月17日(火)16:00 監督会議(本校1階会議室)  
8月28日(土)10:00 競技開始  
9月4日(土)10:00 競技開始  
9月5日(日)10:00 競技開始  
9月11日(土)10:00 競技開始 競技終了後 閉会式
8. 会場
9. 参加資格
  - (1) 2021年度(公財)日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
  - (2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
  - (3) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
  - (4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入または加入の意志のある者。
  - (5) 2002年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。大会参加資格を満たし日程が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
  - (6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
  - (7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
  - (8) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
  - (9) ① 転校後6カ月未満の者(全道大会日計算)は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。(外国人留学生もこれに準じる)。  
② 転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記(9)①に準じるものとする。ただし、この規定(9)②の適用は当該年度内に限るものとする。

- (10) 選手は、在籍する学校長及び所属地区サッカー協会長の承認を必要とする。
- (11) 各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とすること。(選手証とは、KICKOFF から出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。)
- (12) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
- (13) 参加資格の特例
  - ① 本条(2)、(3)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
  - ② 本条(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

#### 【大会参加資格の別途定める規定】

- 1. 学校教育法第72条、第115条、第124条及び第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2. 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加資格を認める条件
    - ① (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ③ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ① 全国高等学校サッカー選手権大会開催要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率し、万一の事故の発生に備えて万全の事故対策を講じておくこと。大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

#### 10. 参加チーム数

各地区協会より北海道大会に参加できるチーム数は次による。

- (1) 参加チームが15チーム未満は、1チームとする。  
(参加チームが1チームしかない場合、隣接する他地区の予選に参加する。)
- (2) 参加チームが15チーム以上で25チーム未満は、2チームとする。
- (3) 参加チームが25チーム以上で35チーム未満は、3チームとする。
- (4) 参加チームが35チーム以上で45チーム未満は、4チームとする。
- (5) 参加チームが45校以上の場合は5チームとする。

- (6) 開催地区代表校2チーム(札幌地区1チーム、十勝地区1チーム)
- (7) 今年度全国高校総体代表チーム、高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2021 北海道に参加しているチーム合わせて8チーム  
(プリンスリーグに参加している以外のチームが高校総体代表の場合は、抽選会時点の上位順位のチームから優先的に出場権を得る。)

#### 11. 競技規則

- (1) 2021 年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
- (2) 大会参加申込みをした最大 25 名のうち、各試合毎の登録は 20 名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の内から、5名までの交代が認められる。
- (3) 交代要員9名とスタッフ5名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。

#### 12. 競技方法

- (1) トーナメント方式により十勝支部代表3校を決定する。
- (2) 試合時間は、1回戦の試合時間は80分間(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として 10 分とする。勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式により、次回戦進出校決定する。
- (3) 準決勝、決勝戦の試合時間は 80 分(40 分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として 10分間とする。勝敗が決しない場合は 20 分(10 分ハーフ)の延長戦を行う。なお決しない時は、ペナルティキック方式により次回戦に進出するチームおよび優勝チームを決定する。
- (4) 参加校数によって競技方法等のレギュレーションを変更する場合があります。

#### 13. 引率責任者 および監督

引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

#### 14. 参加申込

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(一社)十勝地区サッカー協会HPの2種委員会のページより高体連参加申込書(エクセルファイル)をダウンロードし、申込書とプログラム用選手名簿のニカ所に必要事項を入力の上、8月6日(金)までに下記のメールアドレスに添付ファイルで送信してください。尚、職印を押印してある申込書を監督会議に1部持参してください。

〒080-0833

帯広北高等学校当番校事務局森拓也

TEL 0155-47-0121 FAX 0155-48-0021

メールアドレス obikita.soccer2021@gmail.com(当番校担当 PC アドレス)

申込締切期日 令和3年8月6日(金)

#### 15. 参加料

1チーム12,000円監督会議の当日持参し、会議前に受付にて納入のこと。

#### 16. 組合抽選会

8月17日(火)16:00に帯広北高校会議室にて開催される監督会議にて公開で実施する。

17. 選手変更 登録選手の変更は、3名以内とし変更用紙に必要事項(学校長の職印のあるもの)を記入し、8月17日(火)監督会議に、職印を押印してある変更用紙を提出のこと。これ以降の変更は認めない。なお、番号、ユニフォームの色の変更は認めない。

#### 18. ユニフォーム

- (1) ユニフォームは正副2色(シャツ・ショーツ・ソックス、FP・GK用共)を参加申込の際に記載し、各試合必ず携行すること。参加申込時に記載されたものを原則とする。
- (2) 選手番号については、1番～25番までとする。
- (3) チームのユニフォーム(ゴールキーパーを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (4) シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
- (5) ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み以後の変更は認めない。
- (6) ユニフォーム広告については高等学校体育連盟の規則により禁止する。
- (7) ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- (8) 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
- (9) その他については「2021 ユニフォーム規程」を遵守すること。

#### 19. 懲罰

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 規律委員会の委員長は専門委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (5) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

#### 20. 表彰

- (1) 各ブロック優勝校、準優勝校に賞状を授与する。優勝校には優勝杯を授与し表彰する。
- (2) 各ブロック優勝校は10月16日(火)より十勝支部、札幌支部で開催される北海道大会への出場資格を与え出場を義務付ける。

21. 諸会議 監督会議 8月17日(火) 16:00 帯広北高校会議室 ※主将の参加はありません。

#### 22. その他

- (1) 出場校は、必ず引率教員によって引率され、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) 登録選手は、試合ごとに選手証(写真添付)を必ず持参し、試合開始前に指定された場所でチェックを受けること。
- (3) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。尚、参加者は健康保険証を持参すること。参加生徒はスポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。

- (4) メンバー票の提出、ユニフォームの確認は、第1試合においては試合開始の45分前、第2試合以降においては前の試合のハーフタイムの時に本部にて行う。ただし、各ブロック決勝においては、試合開始予定時刻の70分前に高体連十勝支部サッカー専門部および(一社)十勝地区サッカー協会2種委員会立ち会いのもとマッチミーティングを行う。
- (5) ベンチは、ピッチに向かってトーナメント表の若い番号を左側とする。
- (6) 準決勝終了後直ちに3位の表彰を行う。
- (7) 決勝戦終了後、直ちに閉会式、優勝、準優勝の表彰を行う。
- (8) 不測の事態により、競技に影響がある場合は、高体連十勝支部サッカー専門部、当番校で協議し決定する
- (9) 宿泊については大会事務局で斡旋しませんので、各学校でご都合ください。当番校への問い合わせはしないこと。
- (10) 本大会出場に当たっては、各チームから必ず1名以上の帯同審判を必ず帯同させ、その氏名を大会参加申込書に記入すること。また、各校・各チーム顧問で審判員がいない場合は、各校・各チームの責任で必ず帯同審判員を確保すること。尚、その審判員の費用は各校・各チームで負担すること。

## 23. 新型コロナウイルス

### 感染症対策

- ① チームおよび審判員全員に求められること
  - 1. 無理な来場は、勇気をもって、見合わせる
    - ・ 体調がよくない場合(例:発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合)
    - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合(同)
    - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
  - 2. 握手、抱擁などは行わない
  - 3. 社会的距離(できるだけできるだけ2m、最低1m)を確保する
  - 4. マスクを着用する(アップ中またはプレー中を除く)
  - 5. 手洗い、手指消毒をこまめに行う(消毒剤など各チームでも準備願います)
  - 6. グラウンドでの唾・痰吐き、うがい等は、飛沫が飛び感染の原因になる。絶対にやめる
  - 7. タオルの共用はしない
  - 8. 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てない
- ② 健康チェックシートの提出
  - 1. 参加チームは「感染対策責任者」を設置し、事前、試合日、事後に相互が連絡を取り合えるようにする
  - 2. 全員の健康チェックシート(別紙)を作成し、マッチコーディネーションミーティング時もしくはオーダー表の提出時に一緒に提出する
  - 3. 会場到着時まで、チーム全員の体温測定を完了しておく(選手が自宅で必ず検温・シート記入をする)。

4. 37.5℃以上の者がいた場合、次のように処置する
  - ・ タクシー等で、自宅または宿舎に送り出す
  - ・ 感染対策責任者は専門部感染対策責任者に報告する
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の疑い症状がある場合、保健所などに相談のうえ、診療・検査等の適切な処置を行う
  - ・ 疑い症状がない場合、適切に経過観察する
- ③ ピッチ上・ウォームアップ会場でのウォームアップ
  1. 選手、コーチングスタッフは、マスクをしなくてよい
  2. 審判員はマスクをしなくてよい
- ④ 試合開始前の、審判団による選手チェックおよび用具チェック
  1. 各チームのベンチ前で副審が実施。副審はマスクを着用。その後、所定の場所に社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保ち整列する
  2. 入場はW杯方式とするが、挨拶後の握手は行わない。但し、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保つこととする
  3. リスペクト旗、協会旗は行わない
  4. 握手セレモニー、ペナント交換などのセレモニー等は行わない
  5. チームの集合写真撮影は認められる。但し、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保つこと
  6. コイントスは主審および両チームのキャプテンにより実施する。但し、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保つこととする
  7. ピッチ上で円陣を組む場合は、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保つこと
- ⑤ チームベンチ
  1. 社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保って座る。固定座席の場合は、1席空けて座る
  2. 入り切らない場合は、ベンチの横に距離を開けて座る(雨天時の場合は、当番校・地区2種委員会でテントの増設などで対応することがある)。
  3. ベンチの選手およびチームスタッフは、マスクを着用する。但し、テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい
  4. 不要な会話・接触は控える
- ⑥ 試合中の飲水
  1. 飲水ボトルの共用を避ける
    - ・ たとえ口が直接触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性はある
  2. 氷水にスポンジを入れて体を冷やすことは、体を冷やすだけであれば容認される。スポンジで顔を拭くことは行わない
  3. 選手が口を付けフタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは、絶対に避ける
  4. 選手の飲水する機会を保障するため、前後半各1回の飲水タイム(30秒から1分間程度)を設ける

- ⑦ ゴールセレブレーション
  - 1. 社会的な距離(できるだけ2m、最低1m)を保って実施する
  - 2. 握手・ハイタッチ・抱擁などはしない
- ⑧ 試合終了時のセレモニー
  - 1. 両チームと審判団がピッチ中央に一列に集まり、ベンチおよび観客席に挨拶をする。握手は行わない。但し、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保つこととする。
  - 2. 相手チームベンチへの挨拶はせず、自チームベンチへ戻ること。
  - 3. 観客席への挨拶は使用したベンチを空けてから、フィールドの外を回って行うこと。
- ⑨ 観客・応援団へのお願い

今大会は無観客で行います。観戦等はできませんのでご理解、ご協力をお願いいたします。

#### 【マッチコーディネーションミーティングにおけるチームへの伝達事項】

- ① 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ② 両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ③ 円陣を組む場合は、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を保つこと
- ④ 倒れた選手に手を貸さない
- ⑤ 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ⑥ ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- ⑦ 口に含んだ水を吐かない
- ⑧ ボトルの共用を避ける
- ⑨ 水・氷を溜めたクーラーボックスを共用しない。
- ⑩ タオルを共有しない
- ⑪ ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ⑫ ベンチではマスクを着用し、会話を控える

#### 参考資料

Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン(6月12日版)

JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン(第2版 6月12日)

HKFA 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン(7月6日版)